

全国高等学校・中学校ゴルフ選手権大会 競技運営規則

制定 平成 24 年 12 月 9 日

施行 平成 24 年 12 月 9 日

改定 令和 4 年 4 月 1 日

1. 荒雨天等により競技の続行が危ぶまれる時、競技の続行・中止・再開およびその再開および善後策は、競技運営委員会で行う。
2. 荒雨天等の競技の中止・再開等は、(注意・中止・再開)の三種類で、サイレンおよび放送施設をもって選手に連絡する。
3. 荒雨天等による競技の中止が、次に示す時間以上継続した場合を目安として、その日の競技が成立するか否かを競技委員会が決定する。
初日・・・2時間30分以上
2日目・・・1時間30分以上
4. 3項により、いずれかの日の競技が成立しなかった場合、18ホールの競技とする。
5. 初日において、失格した選手については、2日目の出場資格を失うものとする。2日目に、失格した選手の初日のスコアは採用するものとする。
6. 大会期間中(指定練習日も含む)に、飲酒・喫煙等高校生としてあるまじき行為があった選手については、出場資格を失うものとする。
7. 今大会のキャディーは、規則および公知の事実(たとえば、ハザードの位置、パッティンググリーン上の旗竿の位置、グリーンまでの距離など)の情報を与えるのみであり、フォアキャディー同様規則上局外者として扱うものとする。
8. 全参加校の順位づけは、以下の通りとする。

[団体の部]

- 1日18ホール、2日間合計36ホール・ストロークプレーで1校4名(補欠1名)による。
- ① 各校4名のうち各日上位3の2日間合計の総ストローク数が少ない学校を上位とする。
 - ② すべての順位決定において、①の総ストローク数が同数の場合は、2日間の4名の合計ストローク数の少ない学校を上位とする。
 - ③ さらに同数の場合は、優勝校決定の場合のみ、競技委員会の指定するホールで代表1名によるホールバイホール形式のプレーオフを行う。但し、プレーオフが行えない場合は最終日の4人の総ストローク数の少ない学校を上位とする。
 - ④ さらに同数の場合は、最終日の4人の総ストローク数による10番から18番でのマッチング・スコアカード方式及びカウントバックにて順位を決定する。

[個人の部]

- 1日に18ホール、2日間合計36ホール・ストロークプレーで順位を決定する。
- ① 1位にタイが生じた場合は、即日委員会が指定するホールにおいてホールバイホールによるプレーオフを行い、優勝者を決定する。なお、3名以上でプレーオフが行われる場合、優勝者以外の者は2位タイとする。
 - ② 天候の事由でプレーオフが行えない場合は、最終ラウンドのスコアを比較し、成績の良い競技者を上位とする。さらに同数の場合は、マッチング・スコアカード方式のタイの決定方法を掲示して順位を決定する。